



完全でな

車検合格

仕事に追われる札幌市内の

四月二十二日
六を自転車
正治君(三三)
桑園寮、静
知安町、北
出張所根本
ラックにひ
署で調べた
左後輪のべ
四月六日
っかり
きかた
自動車工
救

死亡二人、重傷一人

解体中 橋板折れて下敷

【豊浦】コンクリート橋の取りこわし作業中、スラブ(橋板)が折れ、土工夫二人が死亡、一人が重傷を負った。

八日午後二時五十分ごろ、虻田郡豊浦町字美和の通称富沢橋を取りこわすため、日東土木―本社室蘭市輪西町一九四―の土工夫浜益郡浜益村字幌古滝秀一さん(二八)同字茂生木村吉二郎さん(四三)同字幌戸田彰さん(三三)の三人が幅三、長さ二、厚さ二二センチの

コンクリートのスラブを切断中、突然切断箇所から二つに割れ、約二メートルの川底に落ち、作業中の三人は落ちた橋板にはさまれた。

直ちに町立豊浦国保病院に収容されたが、古滝さん、木村さんの二人は胸部圧迫、内臓出血で間もなく死亡、戸田さんも全身

打撲、骨盤骨折、内臓出血の疑いで重体。

現場は豊浦市街から約十二キロはいた貫気別川上流地点で、同土木の土工夫三十八人が開発道路改良工事のため作業していたが、事故現場では橋を取りこわしてヒューム管を埋める作業が行なわれて

風間秀一

送致。決定、少年院送致)

ん

昭和十六年六月十六日生れ。

これが、この物語の主人公―
そう、千歳少年院で働きしりし

「それでいくつももらったんだ」
「とおー(十粒)」

一、豊浦、昭和三十三年十月十日、札幌市南四区西町札幌カメラ商会より、カメラアイレス

ていた風間秀一の少年院に保存されているカード『少年調査記録』である。風間少年が犯罪の

「まあ初めてだから
幼い肩を神妙に暮として客え

とななら
でもリン
る。しか
まあ最初
ルを盗
のテッ

車両法に違反した行為のあったこと
とがわかり、一方、陸運事務所側

学生がボイコット

大平(一橋大)教授の招へい

小樽商大の
寄贈講座

【小樽】小樽商大の同窓会『緑丘会』では一昨年、保反対運動を強力に推進している同学学生間から全国ではじめて母校に寄贈講座を開設し、こゝに「安保改定に賛成している大平教授をボイコット」としても東大の大塚教授、一橋大の板垣、大平両教授「しよう」という動きが出て大学当局を憂慮させて授を小樽に招くことになっている。ところが安

学校側予定では七月十一日から十六日までの六日間、大平善梧教授に政治学を講義してもらうことになっていたが、学生は「大平教授の専攻は国際法だ。それなのにわざわざ他の大学に出向き、専門外の政治学を講義するのはおかしい。しかも力の対決を説き、安保

改定に大賛成している人をいま招くのはますますおかしい」という声が起こり、先月これら学生が集まり「政治学講座正常化要望同志会」を発足させた。さらに同学の安保改定阻止闘争委員会でも六日「安保改定反対運動の一環として大平氏と対

決しなければならぬ。そのためにまず政治学の履修届を出さないことにしよう」と呼びかけ「小樽商大緑丘新聞」も特集号で「大平教授の政治学講座を開設することは寄贈講座に汚点を付けることになる」と主張している。

このような学生側の動きに大学当局は驚き、学生側と最近話し合ったが、事態は変わらず、成り行きが心配されている。

石河教授(学生部長)の話 学生側に曲解があると思う。大平教授には国際政治学を講義してもらおうが、あくまで学問的な問題であり、政治的にどうこういう問題ではないはずだ。

追放中の歳費

日共 野坂氏ら

ない。警察にはいつて二十三
年。少年問題のベテランである
はずのK警部補が落とし穴には
まったのはキャラメル十粒。十
粒のキャラメルにかかりあうに
あまりに忙しい警察。そこに
少年の悪い芽をつみきれぬスキ
間があった。

刑事事件とまではならないが、
家出、喫煙、深夜外出、怠学な
どほおっておけば罪を犯す恐れ
があるというので補導したのが
ざっと二万件。そのかわりに少
年警察の定員はふえない。だ
から、少年警察は子供の事件に
ふり回されている格好だ。初発
非行が、警察の目をむかせるほ
ど大きなものでなかったのが、
風間少年にとってかえって不幸
をもたらしたという皮肉。ここ
で「悪い芽」をつみとるべき、
最初のチャンスを失う。しか
し「芽ばえ」は、もっと前から
あったはずである。のちし札幌

事件にふり回される

その年

(昭和三十三年)

事件とし

て扱っ

た少刑

目をそそいでいる

た少刑

あつたはずである。のちし札幌

「マッカーサー司令部の指令で国
が行なった公職追放は無効だか
板の事

さんへ

真け